

ふれあい

2013

9

No.318

牛久愛和総合病院 広報誌



「パッションフルーツ」 撮影：理事 居代 時子

標準治療について

特任副院長 阿部 正宏



医師は治療方針を説明させていただく際に「標準治療」という言葉をしばしば使用します。標準というと松竹梅の梅という感じで、期待できないと思う方も多いかもしれませんが、しかし医療における標準というのは、「現時点で最も間違いのない」と言う意味になるのです。例えばある疾患の治療法としてAとBがあつた場合、以前は個々の医師の「私の経験ではA」という思い込みで治療は選択されてきました。実際に他の治療法Bと直接多数例で比較した訳ではないので、本当にAがBより優れているのか実は不明だったのです。そこでどちらの治療法が

優れているのかを知るために、大規模試験というものが盛んに行われるようになりました。大規模試験とは、治療Aと治療Bのいずれが優れているか不明の場合、同じ疾患をもつ多数の患者（通常は数千〜数万人）をAとBに均等に割り振って観察し、数年後の有効性と安全性を確認するというものです。ここで一例を示します。90年代前半にC A S Tという心筋梗塞後患者を対象とした大規模臨床試験が行われました。「心筋梗塞後患者の死因として不整脈が多い」「不整脈は強力な抗不整脈薬で抑制できる」「心筋梗塞後患者全てに抗不整脈薬を加えておくこと（Ⅱ最新治療）で死亡率は低下させられる」という三段論法で試験は開始されました。ところが抗不整脈薬を投与された患者群の死亡率が上昇してしまふという衝撃的な結果となり、試験は中止されました。自然界において理論と現実とは異なっていたのです。これ以降思い込みによる治療の危険性が認識されるようになり、近年は大規模試験の結果をふまえて最も効果的な診療上の目安であるガイドラインⅡ標準治療を専門学会が示すようになったのです。これにより医師の学習や経験によるばらつきが解消され、いつでもどこでも標準的な治療を受けられるようになりました。誰しも病気がかかったら、少しでもいい治療を受けたいと考えるのは当然のことですが、いい治療Ⅱ最新治療（先端医療）とは限りません。また比較的初期のデータが良くてもそれが長期にも良い結果を示すとも限らないので、最終的な結果が得られるまで慎重になる必要があるのです。最後に、ガイドラインに従うことが、例外なく全ての患者に最善であるというのも誤解です。ガイドラインは標準を示すものですが、医療の進歩を受けて変化していくものでもあり、画一的な治療を行うことを推奨しているものではありません。患者の年齢、体力、好み、病態像を吟味して治療法を変える個別治療法が望ましい場合もあることを知る必要があります。

病院で働く人(職種紹介) 4

保育士



保育課主任 宮一 明美

院内保育園「マリア・ナーサリー」をご紹介します。場所はA館レストラン裏の黄色い建物です。0歳児から学童までの子ども達を、24時間体制で保育しています。医師、看護師の方々が安心して医療の仕事に集中できるよう早朝保育、延長保育、当直を行っています。敷地内にある保育園なので送り迎えが安心です。お子さんの健康状態について父母との連絡を密にし、コミュニケーションを大切にしています。急な体調変化で発熱した時などは、すぐに連絡を取り、受診していただいています。現在の園児数は107名、学童63名の合計170名の子ども達が在籍しています。保育士は20名です。当直は乳児から学童まで一緒に過ごします。学童に着替えを手伝ってもらったり、遊んでもらったりします。入眠時は保育士の素話を聞きながら心地よく眠ります。マリア・ナーサリーは一つの大きな家族の様な保育園です。

年間行事は四季折々の行事を大切にしています。5月、こどもの日集会、親子遠足 7月、七夕集会(みんなで笹飾りを作ります) 8月、学童お楽しみ会(学童が計画します。今年は流しそうめん、スイカ割り等をしました) 9月お月見(だんごを作ってお供えます) 10月、親子運動会 11月、七五三参り(鹿島神社に5円玉を持って健康をお参りに行きます) 12月、クリスマス会(サンタさんに会える日です) 保育園バザーに会える日です) 2月、豆まき(節分、鬼がやっけます) 3月、ひな祭り、(ひな壇飾りを作り、浴衣を着てお祝いします) 卒園式(卒園児たちの巣立つ日です) 年間行事には、家族、祖父母、親せきの皆様にも参加していただいています。また、誕生会は、誕生日当日に、その子一人のお祝いをします。誕生会では、年長児が手作りドーナツを作りお祝いをします。保育士からは手袋人形、パネルシアターのプレゼントがあります。マリア・ナーサリーを巣立ち、病院職員として勤務している卒園生もいます。いま猛勉強中で看護師、救急救命士を目指している卒園生もいます。なんと頼もしいことでしょう。私たち保育士はその日が来るのを楽しみにしています。元気な子どもたちの笑顔が待っています。マリア・ナーサリーに遊びにいらしてください。

高校生一日体験学習(看護部・リハビリ)

看護部

今年も7月31日・8月7日の2日間にわたり「高校生一日看護体験」が実施されました。隣の高校から総勢62名の高校生が当院を訪れ、実際に看護師が着用している白衣に着替え、オリエンテーション・病院内の施設を見学後、各病棟に分かれて看護体験に臨みました。

病棟では、担当看護師から説明・指導を受けながら、血圧測定や車椅子体験、患者さんの足浴や手浴、食事の配膳を行ったりと様々な業務を体験しました。

最初は緊張した様子でしたが、一生懸命に取り組み、患者さんとふれあう中で「ありがとうございます」「頑張つてね」と励ましの言葉をいただく、自然と笑顔がでるようになりました。

参加した高校生からは看護の仕事は思っていたよりも大変という感想もありましたが、「患者さんの目線になって考えることができました。」今日の体験

であらためて看護師になりたいと思えました。しっかりと勉強して、看護師を目指して頑張りましょう!」等の声も聞かれました。

当院で働いている看護師の中には、過去に看護体験に参加したことで看護師を目指した方もいます。今回の看護体験をきっかけに、看護への理解を深め、看護師への道を歩んでいく一歩となり、いつか一緒に働ける日がくることを楽しみにしています。(人事部)

入職者

8月1日付

生理検査科

臨床検査技師 山口 千恵子

この度一緒に働かせて頂く事になりました。明るく誰にでも好かれる職員を目指します。8月5日付

医事企画部

橋本 みゆき

久しぶりの病院勤務で緊張しています。早く皆様のサポートが出来ればと思っています。8月16日付

看護部

看護師 岸口 奈津

今までの経験を生かし、新しい環境でさらに知識・技術を深めていきたいと思えます。



春秋園だより

今回は春秋園通所リハビリテーションで行われている手作業レクリエーションについて紹介したいと思います。

通所リハビリでは毎日午後二時よりレクリエーションの時間を設けています。内容は①リハビリを兼ねたゲーム②作業レクリエーション③カラオケ、その他で構成されています。(メニューは週替わりです)三つのなかから好きなメニューを選んでいただき、参加していただいています。どのグループの皆様も顔の表情は真剣



そのもの。手作業レクリエーションでは一日では完成しないため数日をかけて完成される作品もあります。掲載した写真は作品の一例です。完成した作品は施設内で掲示しており、他の利用者様や面会に来たご家族様からも「素敵な作品ですね」といった声をいただいております。利用者様も皆で協力して作ることで、コミュニケーションを深められる事ができ、また作品を完成させた時の達成感もうれしいものです。今後も季節にあわせた作品を作り、皆さまに紹介したいと思えます。どうぞお楽しみに。(通所リハビリ)

『第39回』

生活習慣病教室

テーマ

認知症

患者と介護者の笑顔を取りもどすために

日時 10月22日(火)

14時30分から約一時間

講師

神経内科医長

吉田 佐好子医師

会場 牛久愛和総合病院

B館2階 大ホール

参加費 無料

今回は、認知症の患者との接し方、介護にあたっての注意点などをお話します。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課

電話

029-873-3111(代)



ショップ&カフェ

新C館オープンと共に新しくなった院内売店のご案内です。

売店「ショップ&カフェ」では焼きたてパン・お惣菜・おにぎり・お弁当・ご軽食・挽き立ての本格イタリアンコーヒー等のドリンク類をご提供させていただきます。

季節限定のメニューなど全て店内での手作りにこだわっておりしておりますので是非ご賞味下さい!!

また各種お菓子・ジュース・雑貨類はもとより「介護ショップ」としての役割も兼任しており、地域・各市町村と連携して運営しております。

『福祉用具専門相談員』の資



格を持つスタッフを初めとして、スタッフ全員で福祉用具・用品の販売とご案内をしております。

これまでのような病院内の普通の売店ではなく新しい試みにも積極的に挑戦し、尚且つお客様・患者様に安全で喜んでいただける様、幅広いお客様のご要望にお応えできるお店づくりに日々励んでおります。

パンとお菓子作りのプロのスタッフと福祉用具専門相談員スタッフを始め、ショップ店員一同皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

ご来院の際は是非一度お立ち寄り下さいませ!!



《出来事ピックアップ》

かっぱ祭り



7/27

来年も是非参加し、皆でお祭りを楽しみたいと思っています。

(福利厚生委員会)

医療安全講習会

7/19・8/28

平成25年7月27日(土)第32回うしくかっぱ祭りに参加しました。毎年夏の恒例行事となっております。踊りが始まる前は、みんな出店に並び、好きなものを美味しそうに食べて、お祭り気分を満喫しました。中には出店を梯子する者もいて、普段とは違う楽しいひと時を過ごしました。今年賞を貰うことは難しいと思いましたが「団結賞」と言う賞までいただきました。

去る7月19日と8月28日(追加講習)今年度第1回目の講習会を行いました。外部講師をお招きして、「医療機器の医療事故事例から学ぶ」をテーマに約1時間30分を費やして講演していただきました。

100近い事例報告でありましたが、殆どが当院で報告されたものと類似しており、改めて各々の職種の垣根を越えた監視の目と事例を共有することの必要性を実感いたしました。

(医療安全管理委員会)

編集だより

まだまだ寝苦しい夜が続いております。これからは寒暖の差が激しくなっていますので、涼しい日には厚手の毛布を用意するなどして体調管理には十分お気をつけ下さい。(M・T)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要 病床数 489床 (一般434床 医療療養型55床)

施設 敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1032台



診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100

